

インドネシア国バンドン市-川崎市に関する都市間連携

2016年2月、バンドン市と川崎市は「低炭素で持続可能な都市形成に向けた都市間連携事業に関する覚書」を締結、2020年2月には、持続可能な都市形成に向けた連携をより一層推進するため、新たな覚書を締結し、これまでに廃棄物管理能力向上や河川の水質改善プロジェクトを実施してきた。本事業では未着手となっている大気汚染の改善について、その要因となっている交通渋滞の緩和に取組み、さらにGHG削減効果が見込める優先順位の高い案件を中心に支援を行い、脱炭素社会の実現に貢献する。



インドネシア国バンドン市

環境局戦略計画等に基づき、省エネ・再エネに取り組む。GHG排出量は、目標を上回る削減を達成。グリーンビルディング基準の策定にもいち早く取り組む。



川崎市

2050年までにCO₂排出実質ゼロ、使用電力の再生可能エネルギーへの転換100%を目標に掲げる。川崎市の環境技術・環境産業を生かした地域経済の活性化と国際貢献を推進。

インドネシア国バンドン市-川崎市に関する都市間連携



【事業活動】

- 高効率空調設備の導入候補施設のスクリーニング調査、事業化に向けた方策の検討
- LED街路灯整備計画に対する事業化に向けた方策の検討
- モビリティ改善のためのバンドン市の取組み・課題の把握と改善策の検討
- 大気質モニタリングの現況・課題の把握と改善に向けた方策の検討
- ワークショップの開催（2回）、川崎国際環境技術展への出展

【成果】

- 病院・ショッピングモール等を対象としたスクリーニング調査の実施、BEMSの導入提案とESCO事業活用の提案
- LED街路灯整備の進捗・計画の詳細確認、スマートLEDの導入提案と事業化に向けたJCM設備補助事業等の活用提案
- 大気質モニタリングの現況調査と、改善に向けた提案
- 川崎市の脱炭素社会実現に向けた施策、取組みの紹介による知見共有

バンドン市内の街路灯



第1回ワークショップの様子



交通渋滞の様子